

科目
名

発展日本史

普通科文系選択後期

3年次・2単位

目標

近世における歴史の流れを理解することを中心とし、原始・中世・近現代とのかかわりをおさえながら全時代を問題演習することによって歴史的思考力を定着させる。

位置

日本史 B で学習した内容を元に全時代を発展的に学ぶ。

づけ

■使用する教材

- ・教科書 詳説日本史 B (山川出版社)
- ・問題集 ゼミナール日本史 (浜島書店)
- ・参考書 図説日本史通覧 (帝国書院)
- ・過去の模擬試験問題
- ・自作プリント ほか

■学習する単元とおおよその時期

- ・近世【10～11月】
- ・問題演習【11～1月】

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

予習 教科書の用語調べ

授業 講義形式 (プリント)

問いかけに答えたり、グループごとに分かれて話し合いして発表したりする。また、過去の模擬試験問題を説いたりして解説する。

復習 振り返り問題、プリント・問題集の実施

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A さまざまな歴史事象を資料などを使って総合的にとらえ、その知識をよく理解している。	日本の文化と伝統の特色について問題演習をしながら認識を深め、多面的に考察し、公正な判断や適切な表現をすることができる。	自ら課題を設定するなど主体的に授業に参加し、意欲的に課題解決している。
	B 基礎的な歴史事象を資料などを使ってとらえ、その知識を理解している。	日本の文化と伝統の特色について問題演習をしながら認識し、判断や表現することができる。	主体的に授業に参加し、熱心に授業に取り組むことができる。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	定期考査、小テスト 課題の提出内容	定期考査 授業中の発言内容	授業中の参加態度 課題の提出状況

■領域ごとの授業時間数について（現代の国語、言語文化のみ）

単 元 名								
話すこと・聞くこと								
書くこと								
読むこと								

※前頁の「■学習する単元とおおよその時期」とリンクさせてください

■領域ごとの授業時間数について（英語コミュニケーションⅠのみ）

単 元 名								
聞く								
読む								
書く								
話す（やりとり）								
話す（発表する）								

※前頁の「■学習する単元とおおよその時期」とリンクさせてください

■自己評価について

授業評価と連動させた Google フォームで、実施します。

- ・生徒自身が3観点について、振り返る
- ・生徒自身の取り組み方について
- ・教員の授業について